

OKINAWA GENERAL CONTRACTORS ASSOCIATION

# 沖建協会報



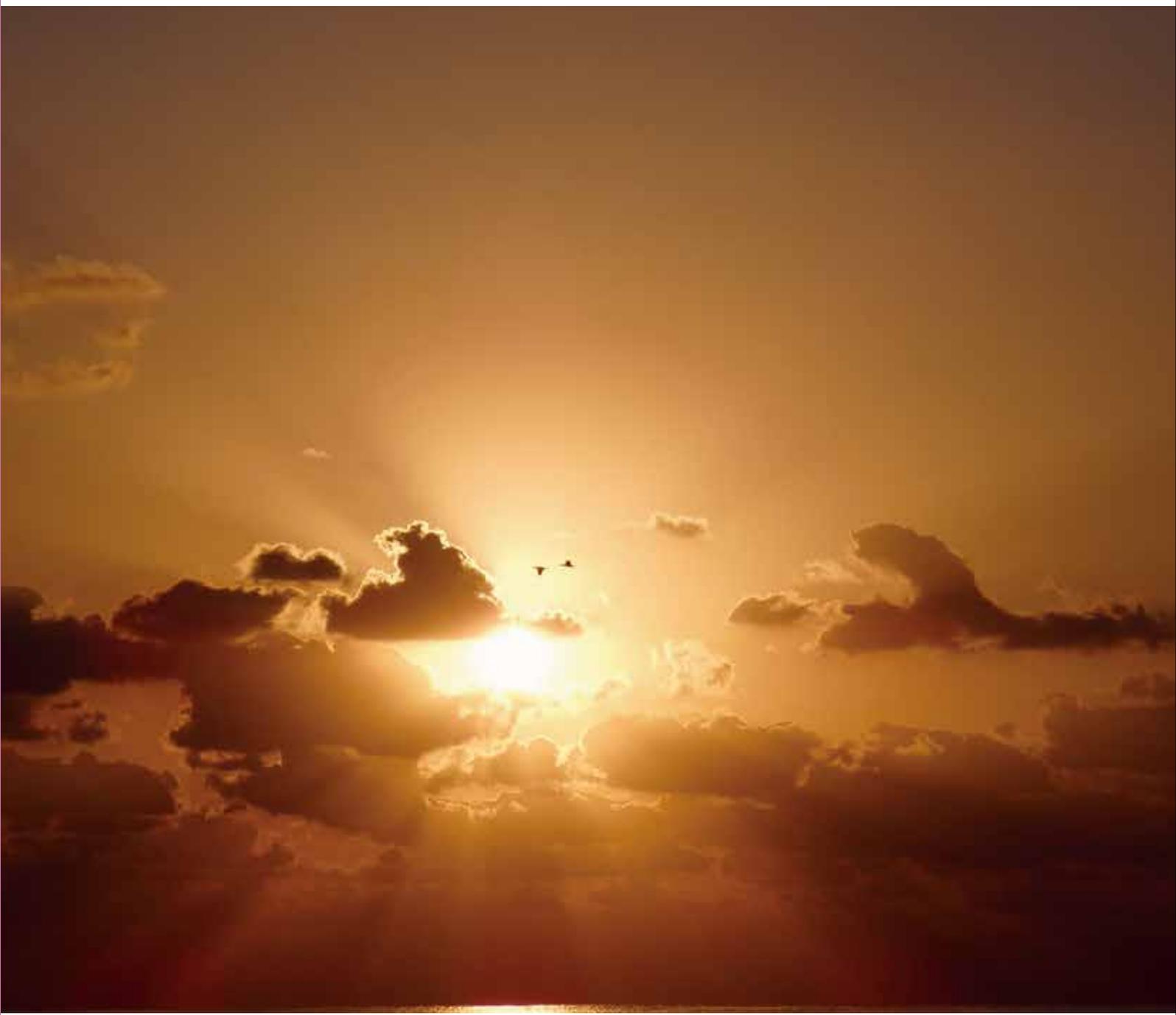
令和4年

1  
月号

No.620

## 今月号の主な内容

- ◆ 年頭のご挨拶
- ◆ 第6回役員会を開催
- ◆ 雇用改善優良事業所を表彰
- ◆ 会員企業が小中校で講話



## 目次

### <年頭所感>

- 一般社団法人 沖縄県建設産業団体連合会  
一般社団法人 沖縄県建設業協会 会長 津波達也…………… 1  
一般社団法人 全国建設業協会 会長 奥村太加典…………… 2  
独立行政法人 勤労者退職金共済機構 理事長 水野正望…………… 3  
公益財団法人 建設業福祉共済団 理事長 茂木繁…………… 4

### <NEWS>

- 第6回役員会を開催…………… 5  
平安座総合開発と丸孝組が雇用改善優良事業所知事表彰を受賞…………… 6  
雇用改善優良事業所・優良若年建設従事者を表彰・伝達…………… 7  
労働安全を中心とした研修会を開催…………… 8  
建設廃棄物の適正処理に係る講習会を開催…………… 8  
会員企業が小中学校で講話…………… 9  
浦添工業・美来工科の生徒が現場見学会に参加…………… 10  
各労基署が建災防と合同パトロール…………… 11  
支部活動報告…………… 12  
    那覇支部が国場川をボランティア清掃  
    南部支部が道路清掃ボランティア実施  
    那覇支部・南部支部・北部支部で CPDS 講習会  
青年部会が献血活動…………… 13  
第13回フォトコンテスト～島の魅力～表彰式を実施…………… 14

### <お知らせ>

- 西日本建設業保証からのお知らせ…………… 16

### <建設雇用改善コーナー>

- 人材開発支援助成金の案内…………… 17

### <Message～後輩たちへ>

### <事務局から>

- 協会の動き…………… 19  
今後の日程…………… 20

### <表紙写真>

#### 【日の出】

撮影場所：八重瀬町

2021年は前年から続くコロナ禍の影響が残るなか、協会を中心にワクチン接種に取り組み、年末の軽石漂着でも会員ネットワークを活かして対応。景気の落ち込みが懸念されるなか、建設業は雇用、そして経済を支える基幹産業としての役割を果たした。迎える2022年は、沖縄県の本土復帰50周年と新たな振興計画が策定・スタートする重要な1年となる。様々な課題を乗り越え飛躍の1年になることを祈念する。



## 年頭のご挨拶

一般社団法人 沖縄県建設産業団体連合会  
 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
 会長 津波 達也

### 明るい将来展望ができる「魅力ある業界」の構築へ

新年あけましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、謹んで建設産業界の皆様にご祝詞を申し上げます。

さて、昨年は「新型コロナウイルス感染症」の拡大により県内景況は大きく変わり、観光産業関連をはじめとする全産業に影を落とした1年だったと思います。

その中で、本県の建設業界を振り返りますと、地方・地域の経済、雇用を下支えする建設産業界でも、消費マインドの低下による民間投資、計画等の先送りもあり少なからずとも企業運営に影響を受けた年であったと考えております。

また、建設産業は、コロナ禍においても社会資本整備、災害応急対応を担う産業として、留まることなく公共事業を履行する立場もあり、迅速なコロナ対策を講じながら現場従事者・関係者への「ワクチン接種」を実施し、希望者約1万人が昨年9月末に2回目の接種を終えることができました。

特に、沖縄県の災害復旧対応協定に基づいた「エッセンシャルワーカー」として先行接種は、業界に携わる者として「社会的責任」を自覚されたものと思います。

一方、業界における働き方は、Web会議、遠隔臨場（リモートワーク）へと大きく舵を切り、DX（デジタルトランスフォーメーション）、ICT活用、3次元モデル等を活用したBIM／CIMの現場への導入が一段と加速化したものと考えております。

そこには、適正な工期の設定等による長時間労働の是正や週休2日の推進、適正な賃金水準の確保等を通じ、業界における働き方改革の推

進、現場の効率性、生産性向上に取り組み、建設キャリアアップシステムの本格的な導入によるキャリアパスの構築等、まさに時代潮流の中で建設産業は「対応」が求められております。

また、毎年のように発生する自然災害に、国土・県土の強靱化に向けた対応についても建設産業の役割は一層高まり「地域の守り手」として、発災時における迅速な対応で応急復旧処理がなされ、建設業の役割やその必要性、重要性が示されたところでもあります。

迎えました新しい年は、本土復帰50周年を迎え、新たな沖縄振興策のもと経年劣化による道路整備をはじめ、橋梁整備、公共施設等への対応を担うとともに、コロナ禍においても公共投資を削ることの無いよう当初予算の拡大確保を求め、県経済の牽引役として役割を果たしていきたいと考えております。

更に、全ての発注者が、「建設企業の適正な利潤の確保」のための取り組みを「責務」として履行することを求めるとともに、建設産業の「好循環」から、地域経済の活性化が図られるよう事業を展開してまいります。

また、建設産業団体並びに建設企業も時代潮流にしっかり対応し、それらの活動が、若者にとって明るい将来展望がえがけ「魅力ある業界」の構築ができるものと確信しております。どうぞ、関係行政機関はもとより、関係各位のご理解とご指導、会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

結びに、建設産業界の飛躍発展、関係各位はじめ会員皆様の益々のご健勝と新しい年が希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつと致します。



## 年頭のご挨拶

一般社団法人 全国建設業協会  
会長 奥村 太加典

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を顧みると、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、わが国でも1日の新規感染者が全国で2万5千人を超える深刻な状況に陥り、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による社会経済活動の制限が長期化するなど、感染拡大への対応に追われる1年となりました。

一方で、1年の延期を経て開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」は、ほとんどの会場で無観客開催となったものの、世界中から集まった多くのアスリートやパラアスリートによる延べ30日にわたる熱戦が各地の競技会場で繰り広げられ、その活躍は世界中の人々に勇気と感動、そして希望をもたらし、コロナ禍で混乱が続く厳しい社会情勢の中、明るい話題となりました。

10月以降は、わが国でもワクチン接種など様々な対策が功を奏し、感染状況に落ち着きが見られつつありますが、感染力の強い新たな変異株の感染拡大が懸念されるなど、新型コロナウイルスとの闘いは長期化が避けられないと見込まれています。

ウイズコロナの状況においても社会経済を活性化させるためには、感染防止対策や医療体制の充実とともに、未来を切り拓くための成長戦略として、積極的な財政出動による公共投資を機動的に推し進めることで、内需を振興し、雇用を拡大することが不可欠です。

また、気候変動の影響により近年自然災害が頻発化、激甚化しているなか、昨年も記録的な大雨により、7月に静岡県熱海市で大規模な土砂災害が

発生したほか、8月には全国各地で河川の氾濫に伴う橋や道路の崩壊が発生し、尊い人命や貴重な財産が失われました。

このような大規模な自然災害などに屈しない強靱な国土づくりを目的として、昨年4月から政府が新たに「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に取り組んでいます。これまでの3か年緊急対策より実施期間や予算規模、事業範囲が大幅に拡充されており、防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化が図られることを期待しております。

地域建設業は、これまで人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としてその社会的使命を果たしてまいりましたが、来るポストコロナの新しい時代においては、「新しい地域の創り手」として、人々が豊かで持続可能な生活を営むために必要な社会生活基盤づくりの担い手としての役割も務めていかななくてはなりません。これからもこれらの使命を果たしていくため、社会資本の整備が計画的かつ安定的に推進されるよう政府や関係機関に広く訴えていくとともに、経営基盤の強化や、担い手の確保・育成、生産性向上、働き方改革など、克服すべき諸課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。結びになりますが、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 年頭のご挨拶

独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
理事長 水野 正望

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、昨年建設業退職金共済制度(建退共制度)の運営に多大なご支援、ご協力を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

建退共制度は、建設技能労働者など建設工事の第一線で働く労働者の皆様の福祉の増進と雇用の安定を図り、建設業を営む中小企業の福祉の振興を目的として、中小企業退職金共済法に基づき、昭和39年10月に創設され、本年で58年目を迎えます。お蔭様で、建退共制度への加入契約者数は17万事業所、被共済者数は218万人を数え、これまで累計で258万人の退職者に対して1兆9千億円の退職金をお支払いしてまいりました。退職金を受け取られた皆様、事業主の皆様からは退職金があって本当に良かったという声を頂いており、建退共は現場で働く方々にとって重要な制度になっております。

さて、2050年のカーボン・ニュートラルの実現やSDGs(持続可能な開発目標)を始めとして、環境問題や社会・経済問題に関する持続可能性が世界的に大きなテーマとなっており、建設業界においても様々な対応を進められているところと存じます。そうした中でも、地域経済の中核を担う魅力ある産業として持続的に発展していくために、建設労働者が希望と誇りを持って働き、次世代に技術・技能を引き継いでいくことができる労働環境を整備していくことが重要な課題であると考えております。私達も責任ある機関投資家としての役割を果たしつつ、引き続き課題解決に向けて寄与してまいる所存です。

昨年は、建退共制度も大きな変革の年となりました。

まず、3月から掛金の納付方法について、これまでの証紙貼付方式に加え、新たに電子申請方式を本格導入いたしました。電子申請方式は、事業主の皆様のお事務負担軽減につながるだけでなく、労働者の皆様により確実に退職金を受け取っていただくための有効な手段と考えておりますので、積極的なご利用をお願いいたします。

また、10月には、近年の金融市場の動向を踏まえ、予定運用利回りを1.3%に引き下げるとともに掛金日額を320円に引き上げさせていただきました。建退共制度を将来にわたって持続可能なものとするために必要な改定でございますので、何卒、ご理解を賜りたいと存じます。

本年も、建退共制度の安定的で効率的な運営に努め、確実な退職金の支給に一層努力して参る所存でございますので、建退共制度への加入並びに証紙の適正な貼付及び電子申請方式利用の促進につきまして、更なるご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご隆昌を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





## 年頭のご挨拶

公益財団法人 建設業福祉共済団  
理事長 茂木 繁

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、建設業界の自主的な共済制度として当団が実施する建設共済保険が誕生してからお陰をもちまして、51年目を迎えることができました。これもひとえに、ご契約者の皆さまと全国建設業協会並びに都道府県建設業協会の皆さまのご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

昨年10月には、ご契約者の皆さまのご要望にお応えして保険金区分5,000万円を新設するとともに、無事故割引率等の改定を行ったところですが、加えて保険収支で発生する剰余金については全額ご契約者に還元する「契約者割戻金制度」を令和4年度から導入する予定としており、公益財団法人に課せられた収支相償の原則を適切に遵守してまいります。また、保険金の支払いを受けた被災者の遺児等に対して返済不要の奨学金を支給する育英奨学事業等の公益目的事業も引き続き実施してまいります。

さらに当団では、本年1月から新たに「事業戦略部」を設置し、平成27年に開始してから8年目を迎える全建及び都道府県建設業協会とのタイアップ広告や昨年一部地域で放映したテレビCM等、Withコロナの時代も見据えた広報活動と一体のものとして加入促進戦略を全国的に展開し、担い手確保・人材育成に向けた建設業の魅力の発信と建設共済保険制度のPRに努めることとしており、事業推進部ともども建設共済保険制度への加入拡大を目指してまいります。

平成28年度から開始した「労働安全衛生推進事業」では、ご契約者の皆さまの安全衛生対策に少しでもお役立てできればと毎年頒布する安全衛生用

品の見直しを行っておりますが、女性の就労環境向上のため建設工事現場に「女性専用トイレ」や「女性専用更衣室」を設置する場合には10万円を上限とする助成も行ってまいります。また、建設業における災害防止の観点から他の模範と認められる労働安全衛生推進者として、令和3年度もご契約者と連名で220名を表彰し、そのうち170名を超える方々を当団のホームページ上で「安全の守り手」として永く顕彰させていただくこととしているほか、建設会館に併設されることの多い教育訓練施設等の整備助成、全建と共催する労働安全衛生講習会への支援も行っているところです。

本年も全建及び都道府県建設業協会並びに建設関係団体との連携を一層密にして、中核である建設共済保険制度の普及促進活動を積極的に展開し、企業規模を問わずご加入いただく方の裾野を拡げながら、併せて公益目的事業として実施している育英奨学事業、労働安全衛生推進事業、都道府県建設業協会に対する一般助成事業等の各種事業を通じて、建設業界の発展と建設労働者の福祉の増進に役職員一同努めてまいりますので、引き続き倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまの益々のご隆昌とご健勝を心からお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。



# 第6回役員会を開催

2021年の活動を締めくくる



2021年最後の役員会が開催された

令和3年度第6回役員会が12月14日、那覇市のザ・ナハテラスで開催された。

議事に先立ち、津波達也会長は「全国建設業協会や九州建設業協会の会合などで、暮らしと経済活動を支える大事な産業である建設産業が安定した経営ができる環境づくりをお願いした。2024年4月にじっしされる罰則付きの残業制限に向けた準備も必要になっている。岸田文雄総理が呼びかけている賃金上昇にしっかり対応するためにも、安定した建設投資が必要。建設投資の一部落ち込みが見られるが民間の復調も期待される。しっかりと予算を確保してもらいたい」と挨拶した。

議事では、新春の集いについて、新型コロナウイルス感染拡大への懸念から中止し、役員会開催後に懇親会を実施することが承認された。このほか、報告事項として、県土木建築部との意見交換会を11月5日に開催したことが比嘉正敏建設委員長から報告された。黒島一洋青年部会長からは11月15日に第13回フォトコンテスト～島の魅力～の表彰式、12月8・9日に献血キャンペーンを行ったことが報告された。また、2022年1月から5月の総会までの経理事務処理の予定も併せて報告された。また、10月に逝去し故・知花成昇氏に「従六



役員会の冒頭あいさつする  
津波会長



知花成昇元副会長の位記が  
知花秀子さんに伝達された



懇親会では参加者全員で乾杯し来年の飛躍を誓った

位」の位記(国家または公共に対する個人の功績を称えるもの)が授与されたことから、津波会長から娘である知花秀子さんに伝達・授与された。

議事終了後には感染防止に配慮しながら懇親会が開催され、参加者が1年の活動を振り返り、来年に向けた展望について和やかに談笑した。

## 平安座総合開発と丸孝組が雇用改善優良事業所知事表彰



平安座総合開発の比嘉総務部長(右から2人目)と丸孝組の前田代表取締役(右から4人目)、嘉数商工労働部長(右端)、津波達也沖建協会長(左端)

沖縄県商工労働部は11月15日、令和3年度沖縄県建設雇用改善優良事業所知事表彰式を県庁で実施した。優良事業所知事表彰は、建設労働者の雇用の改善、能力の開発及び向上ならびに福祉の増進を図るために積極的な活動を展開している建設事業所に対して、その功績をたたえ、知事が表彰するもの。今年度は平安座総合開発(株)(うるま市、奥田修代表取締役)と(株)丸孝組(大宜味村、前田孝明代表取締役)が受賞した。

授賞式には、沖建協の津波達也会長も出席、嘉

数登商工労働部長から平安座総合開発の比嘉直哉総務部長と丸孝組の前田代表取締役に知事表彰が授与された。嘉数商工労働部長は「建設業界は人手不足が続き、若手の確保、人材育成、定着率向上が課題と認識している。受賞企業の2社は魅力ある職場環境づくりに積極的に取り組んだ実績が高く評価された。今後とも他の企業の模範となり雇用の質の改善への取り組みをお願いしたい」と祝辞を述べ、2社の功績を称えた。

### 優良若年建設従事者表彰受賞者

新型コロナウイルス感染予防の観点から受賞者には表彰状・記念品を郵送することとした



仲宗根新(株)沖電工)



野原宏優(株)沖電工)



清成翔慈(金秀建設(株))



列鎌拓也(共和産業(株))



伊波雄太(株)大寛組)



玉城雄登(大晋建設(株))



松川尚樹(大晋建設(株))



安次富長太(株)大米建設)



仲里有史(株)大米建設)



平良邦彦(株)太名嘉組)



奥平響(金秀鉄工(株))



小嶺健(金秀鉄工(株))



佐久川正嗣(國和建設(株))



伊藝美南海(株)仲本工業)

## 雇用改善優良事業所表彰式を開催

令和3年度建設雇用改善優良事業所表彰式が12月14日、那覇市のザ・ナハテラスで開催された。

同表彰は、建設労働者の雇用改善や福祉の増進に積極的に活動している建設事業所を表彰するもので、今年度、(一社)沖縄県建設業協会会長表彰として(株)伸和建設(名嘉重男代表取締役)、比嘉工業(株)(新里孝夫代表取締役)、(株)国吉建設(国吉眞三代表取締役、業務のため欠席)、(株)川平建設(川平勲代表取締役)が表彰され、津波達也会長から表彰状が授与された。

また、独立行政法人勤労者退職金共済機構理事長表彰も併せて行われ、金秀建設(株)(上地千登勢代表取締役)と(株)東開発(仲泊栄次代表取締役)が表彰された。

このほか雇用改善優良事業所知事表彰を受賞した、平安座総合開発(株)の奥田修代表取締役と(株)丸孝組の前田孝明代表取締役が、会場で表彰状を披露した。

なお、優良若年建設従事者の29人についてはコロナウイルス感染防止の観点から、表彰状と記念品を各自に郵送する。



知事表彰を受賞した平安座総合開発(株)の吉村文男専務取締役(左)と丸孝組の大城竜次営業部長(右)



雇用改善優良事業所会長表彰の受賞者と津波会長



勤労者退職金共済機構理事長表彰も行われた



栗森柚輝(株)金城キク建設



石原庸隆(株)國場組



鋤野樺蓮(株)國場組



新垣拓也(株)第一三興建設



平良元貴(株)第一三興建設



伊集盛都(株)野原建設



屋宜泰成(比嘉工業(株))



金城真名勢(株)屋島組



照喜名昂(株)大城組



仲宗根弘一(株)大城組



宮城太一(株)伸本工業



金城遼平(株)福地組



新垣祐喜(株)屋部土建



大城健太郎(株)屋部土建



下地湧人(株)濱元建設興業

## 労働安全を中心とした研修会を開催

沖建協と(一社)全国建設業協会及び(公財)建設業福祉共済団の共催による「労働安全を中心とした研修会」が11月19日、建設労働者研修福祉センターで開催された。

同研修会は、現場等で実際に労働安全対策に携わっている人を対象に実施されたもの。研修では加藤労務安全事務所の加藤全勝所長が講師を務めて、「1・安全衛生確保のために(無事故・無災害を目指して)」「2・施工・品質確保のために」「3・リスクアセスメントと作業手順書」について解説した。

安全衛生確保のためには、建設業における労働災害の現状や統括管理に求められるものが説明された。このほか、施工・品質確保のためには建設業法改正や建設キャリアアップシステムにつ



安全衛生確保などについて学んだ  
いて、リスクアセスメントと作業手順書では、その必要性や作業書作成方法などを紹介した。

研修会は(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)の認定研修(7ユニット付与)として実施され、26人が受講した。

## 建設廃棄物の適正処理に係る講習会を開催

沖建協では会員を対象にした「令和3年度建設廃棄物の適正処理に係る講習会(実務者向けの基本的な内容)」を12月7日に建設労働者研修福祉センターで実施した。

同講習会は、建設廃棄物の適正処理について実務者向けの基本的な内容で構成されたもの。第1部では日建連環境委員階土木副産物部会の阪本廣行部会長が「環境関連法体系と建設廃棄物及び排出事業者責任について」、第2部では日建連建築副産物部会で元副部会だった田邊貞幸氏が「建設リサイクル法について及び廃棄物の委託処理について」、第3部では建設マニフェスト販売センターの戸田伊作総務部長が「(主に建設系紙)マニフェストによる管理について」の3部構成で講習を行った。

建設廃棄物は、建設工事に伴い発生する「建設副産物」のなかで、廃棄物処理法第2条1項に規定する廃棄物に該当するものと定義され、適正に処理することとなっている。講習会は沖建協と建



建設廃棄物の適正処理について解説した



第1部の講師を務めた阪本氏



第3部で解説する戸田氏

設マニフェスト販売センター及び建設六団体副産物対策協議会の共催で行われ38人が受講した。

# 会員企業が小中学校で講話

## 建設業の魅力を伝える

令和3年度未来の産業人材育成事業(職業人講話)に沖建協会員企業が参加し、子どもたちに建設業の魅力を伝えた。

未来の産業人材育成事業は、県商工労働部の事業で今年度は(一財)沖縄観光コンベンションビューローが委託を受けて実施している事業で、今年度は建設産業や観光リゾート産業など7つの産業の魅力を沖縄の未来を担う子供たちに伝えることを目的に、各産業の職業人が出前講座を行っている。今年度は9月から11月にかけて、城北中学校若夏分校(那覇市)で糸数幸恵代表取締役(株丸元建設)、与那国中学校(与那国町)で米盛博明代表取締役(株米盛建設工業)、天妃小学校(那覇市)で大石宣史取締役(先嶋建設株)、城東中学校(宮古島市)で佐平龍太取締役副社長(株佐平建設)、名蔵小中学校(石垣市)米盛博明代表取締役(株米盛建設工業)、古堅中学校(読谷村)で高江洲義忠総務部長(株大興建設)、潮平中学校(糸満市)で徳元猛代表取締役(光建設株)が講師を務めた。講話では、各講師が建設産業の概要や魅力を動画を交えて紹介した。また、座間味3中学校(座間味中、阿嘉中、慶留間中)で行われた職業体験には(株東恩納組)の東恩納惟代表取締役が参加した。

アンケート結果で建設産業に対する印象について、講話前は良い・やや良い印象が約4割だったが、講話後には良い印象が大幅に増加するなど、建設産業に対する認識が改善されることが確認された。また「建設業で働いてみたいと思った」「社会人は責任を持った行動と、あいさつが大事ということが印象に残った」などの感想が寄せられたほか、一部学校ではドローンのデモ飛行も行われ、ICTやドローンなど建設産業で進むIT化に関心を寄せる生徒も見られた。先生からは「働くということを意識できる内容だった」「講師の声は説得力があり、実際の社会を理解するのに役立つ。建設業に興味を持つ子が増えたと思う」と内容を高く評価した。



古堅中での講話の様子



城北中若夏分校での講話の様子



名蔵小中の講話  
(以下2枚の写真提供・(一社)沖縄観光コンベンションビューロー)



VRを体験する潮平中の生徒たち



城東中学校ではオンラインで講話した

# 浦添工・美来工科の生徒が参加

## 沖建協高校生現場見学会

県内の工業高校生を対象にした建設現場見学会に浦添工業高校インテリア科と美来工科高校土木工学科の生徒が参加した。

11月29日に行われた現場見学会には浦添工業の2年生の生徒・教員51人が参加して「沖縄工芸産業振興拠点施設(仮称)新築工事(建築)」(株)明成建設・(株)大成ホーム・三善建設(株)JVと「第一牧志公設市場建設工事(建築)」(株)國場組・(株)大米建設JVの2現場を見学。工芸拠点施設の現場では、吉平力建築部長らが工事概要や進捗状況などを説明し、建物内部を案内した。牧志公設市場の現場では玉城浩和現場代理人が基礎工事の様子などを紹介。鉄筋結束の体験も行われた。

12月2日は浦添工業高校1年生の生徒・教員約60人が参加して「石嶺市営住宅第6期建替工事(建築)」(南洋土建(株)・(株)沖縄総建JV)と(株)技建(津波古健二代表取締役社長)のヤード・工場を見学。石嶺市営住宅の現場では、現場代理人の豊里毅所長らが工事の概要や進捗状況などを説明した。技建では同工場で製作されているHPC(ハイブリッド・プレストレスト・コンクリート)の製作工程を見学して学んだ。

12月8日は美来工科高校土木工学科の1・2年生の生徒・教員約60人が参加。「平成30年度赤嶺トンネル(北側)工事」(飛島建設(株)・(株)太名嘉組・丸尾建設(株)JV)と「中城湾港(新港地区)海邦橋耐震補強工事(R3)」(株)豊神建設・(有)尚建設JVの現場を見学した。赤嶺トンネルの現場では同作業所の澤井茂作業所長らが工事概要などを説明したほか、北向き・南向きの2本のトンネル内部を案内した。海邦橋の現場では、県内でも施工実績の少ないSTEP工法を見学。河川上に設置されたデッキ部から工事の様子を確認した。

参加した2校の生徒からは「現場を見ることが出来る貴重な機会です。普段の授業では学べないことをたくさん学べた」などの感想が寄せられた。



牧志公設市場の基礎工事の様子を見学する浦添工業の生徒たち



仕上げの進む石嶺市営住宅内部を見学する浦添工業の生徒たち



トンネル工事の状況について説明を受ける美来工科の生徒たち



海邦橋の下部を見学する生徒たち

# 各労基署が建災防と合同パトロール

年末年始の労災防止を呼びかける

年末年始の労働災害防止に向けて、県内各地の労働基準監督署が建設業労働災害防止協会沖縄県支部の各分会と合同パトロールを行った。

名護労働基準監督署(川満秀明署長)と建災防北部分会(分会長・仲程俊郎北部支部長)は12月3日に合同パトロールを実施。監督署の職員及び北部分会の指導員の計12人が参加した。参加者は全員で指差唱和を行ったあと、3班に分かれて名護市内、本部町、今帰仁村の3地区のパトロールに出発。管内の工事現場を視察した。

12月7日には那覇労働基準監督事務所(嘉手納尚署長)と那覇分会(分会長・長山宏那覇支部長)、南部分会(分会長・上原進南部支部長)、浦添・西原分会(分会長・名嘉太助浦添・西原支部長)、沖縄労働基準監督事務所(比嘉信和署長)と中部分会(分会長・津波克守中部支部長)、八重山労働基準監督事務所(上地克昌署長)と八重山分会(分会長・米盛博明八重山支部長)が各管内の合同パトロールを行った。

沖縄労基署管内の合同パトロールでは中部建設会館で出発式が行われ、比嘉署長、津波分会長が挨拶したあと、10人の参加者が3班に分かれて、沖縄市、うるま市、宜野湾市、嘉手納町、北谷町、読谷村、恩納村、北中城村、中城村の各現場をパトロールした。

那覇労基署管内の合同パトロールには嘉手納署長をはじめ3分会の担当者ら19人が参加。那覇労基署で出発式を行ったあと、参加者は3班に分かれて各分会のエリアのパトロールを実施。那覇分会では若狭小学校校舎及びプール等改築工事の現場を視察した。

八重山労基署の合同パトロールには上地署長、米盛分会長ら13人が参加。参加者は新川市宮住宅建替工事建築3工区・4工区を視察したあと、建築班と土木班に分かれて、管内の各工事現場を視察した。



名護労基署では北部管内の各現場をパトロールした



那覇労基署管内のパトロールの様子



沖縄労基署管内のパトロール参加者の皆さん



八重山労基署のパトロール出発式で指差唱和を行う参加者

## 支部活動報告

## ■那覇支部が国場川をボランティア清掃

那覇支部(長山宏支部長)は11月17日、同支部周辺を流れる国場川の河川清掃ボランティア活動を行った。

同支部では、今年度から支部独自で河川清掃ボランティアを行っており、5月に続いて2回目の活動で、支部会員から約50人が参加した。

参加者は那覇市上間の同支部事務局に集合後、3班に分かれて裏手を流れる国場川の左岸約700mの清掃活動を行った。今回の活動では草刈機も導入され、川沿いの除草やゴミ拾いを行った。

コロナ禍でのボランティア活動が見送られることが増えたことから、支部では関係機関と調整し、実施団体として認定された。

なお、前回の活動と今回併せて年2回以上の清掃活動参加会員については、沖縄県緑化推進委員会より証明書が発行され、県土木建築部の総合評価で社会資本維持活動の実績として評価対象になる。



川沿いの除草作業などを行った



ボランティア活動に参加した皆さん

## ■南部支部が道路清掃ボランティア

(一社)沖縄県建設業協会南部支部(上原進支部長)は11月19日、県道7号線の糸満市照屋交差点から給食センターの区間の道路清掃ボランティア活動を行った。

清掃活動は同支部が実施しているもので、今回の作業には支部会員企業から約40人が参加した。糸満市農村環境改善センターの駐車場で行われた出発式で赤嶺武信副支部長は「社会貢献活動の一環として毎年、実施している。清掃活動を行うにあたっては、通行車両に対する安全に加えて、熱中症にも気をつけて作業を行ってほしい」と挨拶した。

参加者は2班に分かれて作業を開始。約1kmの区間で歩道部を中心に沿道の除草やゴミ拾いなどを行った。



沿道の除草やゴミ拾いを行った



歩道を中心に作業を行った



清掃活動に参加した皆さん

## ■那覇支部・南部支部・北部支部がCPDS講習会

南部支部(上原進支部長)、那覇支部(長山宏支部長)、北部支部(仲程俊郎支部長)は支部会員向けCPDS講習会をオンラインで開催。南部支部は11月15日(25人受講)、那覇支部は11月22日(29人受講)、北部支部は11月29日(35人受講)に開催した。CPDSは7ユニットが付与される。

講習会は「社会インフラの老朽化問題と長寿命化対策」をテーマに合同会社クロソイドの戸所俊雄顧問がオンラインで講話した。



那覇支部では29人が受講した



南部支部では25人が受講した



北部支部は35人が受講した

## ■青年部会が年末恒例の献血活動実施

青年部会(黒島一洋部会長)は、年末恒例の献血活動を12月8・9日に実施。2日間で202人が献血に協力した。

8日は那覇市の天久りうぼう薬市駐車場で実施。黒島部会長は「これまでに2000人以上に献血への協力をいただいた。コロナ禍ではあるが血液不足解消を図り、業界のイメージアップに努めたい」と挨拶した。県赤十字血液センターの上里裕昭事業部長は「今年はコロナ禍で献血が実施にくい状況が続いたが、青年部会の実施に感謝している。今後も協力をお願いしたい」と述べた。

2日目はイオン具志川ショッピングセンターで実施。参加者の一人は「社会貢献のため毎年参加していて今年で8回目。これからも参加したい」と話した。



挨拶する黒島部会長

那覇地区で献血の受付をする参加者



中部地区で行われた献血の様子

# 最優秀賞に砂川氏と新城氏

## 青年部会フォトコンテスト表彰式



各賞の入賞者を表彰した

青年部会(黒島一洋部会長)は11月15日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで第13回フォトコンテスト「島の魅力」の表彰式を行い、人の部で17人、造の部18人を表彰した。黒島部会長は「フォトコンテストも13回目を迎えた。コロナ禍で応募作品の減少が懸念されたが、過去2番目に多い応募をいただいた。厳正な審査の結果、受賞者が決まった」と挨拶。続いて、東邦定審査委員長が講評と審査経過を発表した。

引き続き、各部門の入賞者が読み上げられ、代表者に黒島部会長から表彰状と記念品が授与された。受賞者代表挨拶で造の部、最優秀賞を受賞した新城元貴氏が「今回の受賞作品はもともと、大雨のなか雷が落ちる閃光を見て、その瞬間を撮ろうと考えて撮影した。被写体、構図、明かり、そしてタイミングの4つの要素が揃った作品。コンテストを通して建設業がますます発展することを願っている」と挨拶した。

今回のフォトコンテストには人の部126点、造の部148点の応募の中から各賞が選考された。



人の部最優秀賞の砂川氏



造の部最優秀賞の新城氏

【人の部】



【最優秀賞】砂川 寛樹「絶景かな？」



【優秀賞】伊禮 京太  
「オーライオーライ」



【優秀賞】田中 忍「夜明け前の  
安全CALL!俺たちは出来る!!」

【入 選】

- ・与儀 敬子「コーヒータイム」
- ・伊藤未来也「自主検査」
- ・新城 勇「現場の夜明け」
- ・小橋川典秀「人材の「未来」」
- ・小橋川典秀「未来を創る」
- ・米山 祥平「海上ボーリング」
- ・寄川 貴博「BIGキャッチャー」
- ・植田 優「初めてのドローン体験」
- ・松原 真樹「息子の笑顔で充電完了」
- ・Momoyo Uejo「光に集中」

【造の部】



【最優秀賞】新城 元貴「閃光の要塞」



【優秀賞】新屋 佳彦  
「一括架設(多軸式特殊台車)」



【優秀賞】知花 修  
「世界とつなぐ2本の滑走路」

【入 選】

- ・城間 健「中城バイオマス発電所」
- ・西原 邦洋「志」
- ・宮城 博「海の見える憩いの場」
- ・慶田盛 正「汚濁防止膜の効果発揮!!」
- ・寄川 貴博「七色の海上門」
- ・おおきゆうこう「大空へ羽ばたく」
- ・喜舎場信吾「天空のキャンバス」
- ・米盛 雄介「首里城にて」
- ・多和田真彦「沖縄アリーナ」
- ・大城 裕司「美しいコンクリート」

「特別賞(学生対象)」



田中 来武「ストリート」

【みんなの公共建築賞】



城間 健  
「万座毛周辺活性化施設」

【みんなの公共土木賞】



幸喜 学「大地を削る」

【沖縄建設新聞社長賞】



識名 朝日「慎重に、慎重に」



砂川 亜澄「明日に備えて・・・」



沢岷 博美「海辺の駐車場」



中村 悦子「静寂」



仲程 梨枝子「芸術文化の拠点」



小浜 源太「初墨だし」

【現場で働く美ら小町賞】

## 沖縄県内の公共工事動向 (令和3年11月分)

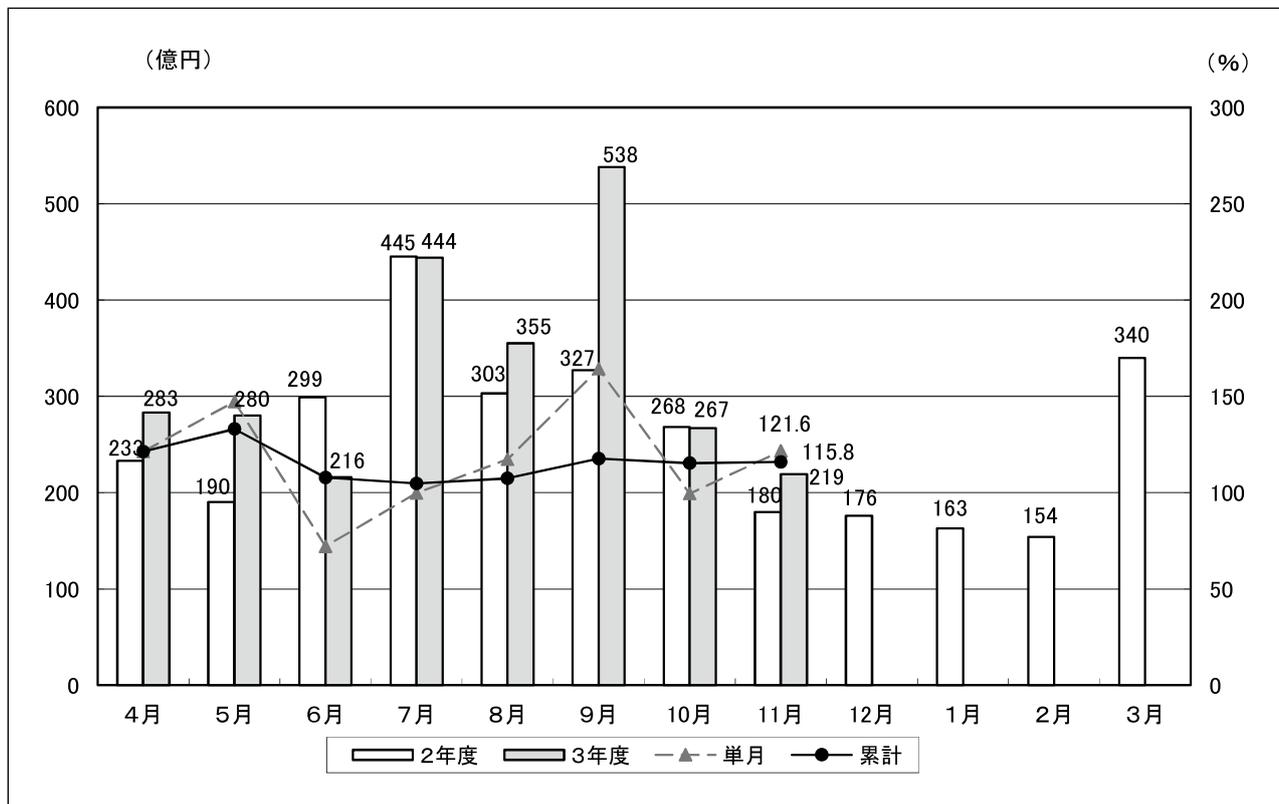
西日本建設業保証(株) 沖縄支店

### ▼ 概況

(単位：件、百万円、%)

	当 月		前年同月比		累 計		前年同期比	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	36	9,476	109.1	155.2	364	108,880	102.5	149.5
独立行政法人等	2	39	40.0	14.8	31	8,262	119.2	234.7
沖縄県	64	3,536	87.7	67.4	656	51,064	91.6	92.8
市町村	151	7,910	108.6	138.9	1,205	82,321	99.4	95.6
その他	10	1,017	71.4	133.3	96	10,006	100.0	133.0
令和3年度	263	21,981	99.6	121.6	2,352	260,536	97.8	115.8
令和2年度	264	18,076	91.7	88.0	2,405	225,014	99.9	101.9
令和元年度	288	20,544	104.0	128.2	2,407	220,722	99.7	109.7
平成30年度	277	16,031	97.2	69.3	2,414	201,277	94.9	87.7
平成29年度	285	23,134	82.1	96.3	2,543	229,592	91.1	107.7

### ▼ 月別請負金額、単月・累計前年対比の推移



# 人材開発支援助成金の案内

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。企業の人材育成と労働者の職業能力開発のために、ぜひ、ご活用ください。

## ～申請の前に～

事業主は、職業能力開発促進法第8条において、その雇用する労働者の多様な職業能力開発の機会の確保について配慮するものとされています。職業能力開発促進法では、それら労働者に関する職業能力の開発及び向上が段階的かつ体系的に行われるよう、「職業能力開発推進者」の選任と「事業内職業能力開発計画」の策定を、事業主の努力義務としています。

人材開発支援助成金では、従業員の計画的な職業能力開発に取り組む事業主等を支援するため、この「職業能力開発推進者」の選任と「事業内職業能力開発計画」の策定をしている事業主等を対象としていますので、訓練実施計画届の提出までに選任・策定を行っていることが必要です。

※選任・策定後の内容の変更に係る届出等は不要です。

## 人材開発支援助成金

**特定訓練コース** … 若年者に対する訓練、労働生産性の向上に資する訓練など、効果が高い 10 時間以上の特定の訓練や、「OJT」と「OFF-JT」を組み合わせた訓練を行った場合に支給される助成コースです。各コースの詳しい要件等は下記・お問い合わせ先にご確認ください。

- ①労働生産性向上訓練
- ②若年人材育成訓練
- ③熟練技能育成・承継訓練
- ④グローバル人材育成訓練

### OFF-JT

(OFF the Job Training)により行われる訓練

事業活動と切り離して座学などにより行う訓練で、事業内訓練または事業外訓練で計画する必要があります。

- ⑤特定分野認定実習併用職業訓練
- ⑥認定実習併用職業訓練

### 雇用型訓練

OJTとOFF-JTを効果的に組み合わせて実施する訓練

実習併用職業訓練として厚生労働大臣の認定を事前に受けておく必要があります。

### お問い合わせ先

沖縄労働局職業安定部  
職業対策課  
助成金センター  
TEL：098-868-1606  
FAX：098-868-1612

**一般訓練コース** … 職務に関連した知識・技能を習得させるための 20 時間以上の OFF-JT 訓練を行った場合(特定訓練コースに該当するもの意外)に支給される助成コースです。

支給対象となる訓練		経費助成		賃金助成 (1人1時間当たり)		OJT実施助成 (1人1時間当たり)	
			生産性要件を 満たす場合		生産性要件を 満たす場合		生産性要件を 満たす場合
特定訓練コース	OFF-JT	45% (30%)	60% (45%)	760円 (380円)	960円 (480円)	—	—
	OJT	—	—	—	—	665円 (380円)	840円 (480円)
一般訓練コース	OFF-JT	30%	45%	380円	480円	—	—

※認定実習併用職業訓練において、建設業、製造業、情報通信業の分野(特定分野)の場合は経費助成率が60%、生産性を満たす場合は75%となります。

〈各コースの申請期限〉

○訓練実施計画(訓練様式第1号)

→訓練開始日から起算して1カ月前までに提出するようお願いいたします。(厳守)

例：訓練開始日が7月1日である場合、6月1日が提出期限

訓練開始日が7月15日である場合、6月15日

訓練開始日が7月31日である場合、6月30日(6月31日がないためその前日)

訓練開始日が9月30日である場合、8月30日(前月の同日が期限)

訓練開始日が3月29日、30日、31日である場合、いずれも2月28日(閏年は2月29日)

※新たに雇い入れた被保険者のみを対象とした訓練等雇い入れ日から訓練開始日までが1カ月以内である訓練等の訓練実施計画届の提出期限については、訓練開始日から起算して原則1カ月前です。

※訓練実施計画届提出時において、提出が困難な添付書類がある場合は、その旨を申し出た上で訓練開始日の前日までに提出して下さい。

# Message ～後輩たちへ～

## 疑問を分からないままにしないことが大切

入社して4年目になります。業務の上で自分の意思を伝える事が難しいと思う時がありますが、しかしそれは、とても大切な事だと感じております。

最初は、不安もあると思いますが、一つ一つ覚えていき、疑問に感じたら自分で調べるなり、分からないままにしない事が大切です。大丈夫、君なら出来る。

### 担当した現場



### 【村道漢那旧国道線橋梁上部工事】

写真の現場は、宜野座村にある漢那橋です。初めて、桁製作から架設と完成まで携わる事が出来て達成感を感じられた現場でした。



宜野座高等学校出身

嶺井 辰之輔さん(25歳)

(沖縄ピーシー株式会社 製造・工事部/製造課)

みねい・たつのすけ/名護市出身/2014年3月宜野座高校卒業/2018年3月沖縄国際大学法学部地域行政学科卒業/2018年4月沖縄ピーシー株式会社入社

入職のきっかけ:小さい頃から建物の構造に興味があり、現場監督という職を選びました。

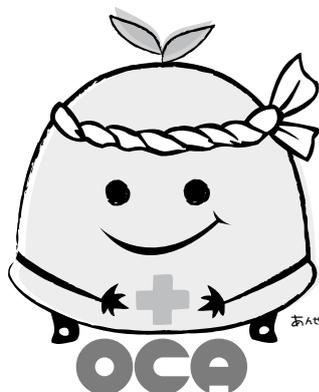
将来の夢:施工管理の資格を取得し、現場を任せられること。

休日の過ごし方:家でのんびり過ごすこと。

## 沖建協「見える化」イメージアップキャラクター

# 「あんぜんぼーや」を現場へつれてって!!

### 地域と共に、未来を築く



Okinawa General Contractors Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4 サイズ、A3 サイズ)

協会会員が施工する建設現場の入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加が必要な場合は、所属支部窓口で配布します。

## 2021年12月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1	水		・沖縄県経済団体会議「幹事会」(那覇市)
2	木	・沖建協「工業高校生現場見学会(浦添工業・インテリア科)」(那覇市、南城市) ・沖建協「建退共・福祉共済団個別相談会(宮古地区)」 (宮古建設会館)	
3	金	・沖建協「建退共・福祉共済団個別相談会(八重山地区)」 (八重山建設会館)	・建設業振興基金「連携団体職員合同研修会」(東京都)
6	月		・職業能力開発協会「後期技能検定委員辞令交付式及び調整会議」(那覇市) ・職業能力開発協会「実践型人材育成訓練打ち合わせ会議」(那覇市)
7	火	・沖建協、建設マニフェストセンター「建設廃棄物の適正処理に係る講習会(本島地区)」(浦添市)	・全国土木技士会連合会「国交省との意見交換会」 (東京都)
8	水	・沖建協「工業高校生現場見学会(美来工科・土木工学科)」(那覇市) ・沖建協青年部会「献血キャンペーン」(天久りうぼう楽市)	・沖縄県防衛協会「理事会」(那覇市) ・全国建産連「専門工事業全国会議」(東京都) ・琉球大学工学部工学科「社会基盤デザインコース教育懇談会」(西原町)
9	木	・沖建協青年部会「献血キャンペーン」(具志川ジャスコ)	・全国土木技士会連合会「事務局長及び実務担当者会議」 (東京都) ・建災防「労働災害防止大会」(那覇市)
10	金		・沖縄県経済団体会議「本会議」(那覇市) ・沖縄県商工会議所連合会「令和3年春・秋の叙勲・褒章等受章者合同祝賀会」(那覇市)
13	月		・九経連「沖縄連携フォーラム」(那覇市)
14	火	・沖建協青年部会「正副部会長会議」(建労センター) ・沖建協「不当要求防止責任者講習(八重山地区)」 (八重山建設会館) ・沖建協「役員会」(ナハテラス) ・沖建協「沖縄県建設雇用改善優良事業所表彰式」 (ナハテラス)	
16	木		・建退共本部「加入促進対策委員会」(東京都)
17	金		・浦添市「新型コロナウイルスワクチン集団接種推進に係る感謝状授与式」(浦添市) ・沖縄総合事務局「道路啓開訓練事前説明会」(那覇市) ・全建「地域懇談会等における諸問題の意見交換会」 (東京都)
20	月		・沖縄県環境整備センター「取締役会」(那覇市) ・沖縄県「新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議(本会議)(Web)」
21	火	・沖建協「遠隔臨場実践研修」(宮古支部)～12/22(水)迄 (宮古建設会館)	
23	木		・沖縄県「令和3年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰伝達式」(那覇市)
27	月		・沖縄県「沖縄県振興審議会」(那覇市及びWeb)

## 2022年1月の行事予定

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
5	水	・沖建協「役員会」(ナハテラス)	
7	金	・沖建協「令和4年度新入社員育成訓練等並びに実践型人材養成システム大臣認定申請に係る説明会」 (建労センター)	
12	水	・沖縄県土木技士会「役員会」(建労センター)	・土木学会西部支部沖縄会「技術発表会」(西原町)
13	木	・建産連「役員会」(ナハテラス)	・九建協「建退共九州ブロック支部事務担当者会議」 (鹿児島県)
18	火		・職業能力開発協会「若年技能者人材支援等事業に係る連携会議」(那覇市)
20	木		・沖縄県生コンクリート品質管理監査会議(那覇市)
24	月	・沖建協「工事総合補償制度説明会」(宮古建設会館)	
25	火	・沖建協「工事総合補償制度説明会」(八重山建設会館)	・沖縄総合事務局「道路啓開訓練(情報伝達訓練)」 (那覇市)
26	水	・沖建協「工事総合補償制度説明会」 (北部雇用能力開発総合センター)	
27	木		・全国建産連「理事会・協議員会」(東京都)



### [1月号会員の異動]

今月の会員の異動はありません。

沖建協会報 2022年1月号 (第620号)  
令和4年1月1日 発行  
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL.098 (876)-5211  
FAX.098 (870)-4565  
編集 株式会社沖縄建設新聞

# 建設業の経営事項審査には CIIC 経営状況分析

郵送申請より1,540円お得!



## 電子申請

事務所から!

自宅から!

申請書作成～申請～結果受け取り  
そのパソコンで、ぜんぶできます!



### ● CIIC 電子申請の流れ ●



## 1 作る

らくらく  
申請書作成!

無料申請ソフト  
なんでも経審Plus  
で分析申請書・財務  
諸表など申請書類を  
入力し、電子申請デー  
タを作成します。

どなたでも、いますぐ無料で使える!

許可・経審・分析申請書作成ツール

## なんでも経審Plus

- ・自動バージョンアップ機能
- ・担当者間のデータ共有
- ・評点計算シミュレーション

## 2 送る

送付0日!

登録無料CIICマイページから電子申請データを送信し、  
申請完了!マイページからネットバンキングやペイジー  
のお支払い手続きもOK!

## 3 受け取る

お届け0日!

## e結果通知

「e結果通知で受け取る」を選択  
すれば、分析完了後マイページか  
ら結果通知書を受け取り、印刷できます。

※申請データ送信後、直ちに分析が完了するわけではありません。

国土交通省では、令和5年1月から建設業許可・経営事項審査の電子申請システムの運用を開始する予定です。申請手続きの電子化により、申請者・許可行政庁双方の事務負担の軽減を目的としています。

経営状況分析は“信頼と実績”の登録経営状況分析機関 **登録番号 1**

【アドレス】 <http://www.ciic.or.jp/>

又は、CIIC

検索

## CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 九州事務所

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番18号 福岡建設会館6階

【お問い合わせ】 TEL 092-483-2841 FAX 092-483-2846

当財団は、情報セキュリティ  
マネジメントシステム (ISMS)  
に関するISO規格 (27001) の  
認証を取得しています。



# 建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

## I. 退職金の予定運用利回り掛金日額の変更について

新型コロナウイルス感染症拡大に端を発する金融市場の大幅な変動等により、建設業退職金共済制度の累積剰余金が減少し、今後も厳しい状況が見込まれていることから、中小企業退職金共済法第 85 条において検討することとされている、建設業退職金共済制度の退職金額に係る予定運用利回りの見直し等について、労働政策審議会勤労者生活分科会中小企業退職金共済部会において検討されました。

そこで、運用利回りの見直しについては、制度の魅力を維持しながら、できるだけ制度の安定的な運営を図るべく、予定運用利回りを現行の 3.0% から 1.3% に引き下げることとなり、その際、制度の魅力を損なわないように掛金日額を 10 円引き上げて 320 円とすることも併せて決定されました。

## II. 公共工事における建退共制度の履行確保について

### 1. 電子申請方式の推進

電子申請方式は、掛金の納付状況が共済契約者及び労働者ごとに毎月正確に把握できるため、掛金の納付実態が透明化され、適正な掛金納付の推進に寄与するものであることから、電子申請方式の普及及び利用促進を図る。

### 2. 建退共対象労働者の的確な把握と対象労働者に対する確実な掛金充当の推進

共済契約者が建退共対象労働者数を的確に把握するため、従来実務上使用される例のあった「辞退届」に代わるものとして、機構が「建設業退職金共済制度加入労働者数報告書」の様式を定める。

### 3. 履行確認の強化等

(1) 受注者は、掛金収納書の提出用台紙(新設)に当該工事における共済証紙購入の考え方を記載し、発注者に提出するものとする。

(2) 受注者は、工事完成後、労働者延べ就業日数、建退共の掛金充当日数等を示す「建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表」(新設)を発注者に提示するものとする。

(3) 受注者は、工事完成後 1 年間、次の①、②及び③の資料を事務所に備え付けるものとする。資料の事務所への備え付けは、電磁的記録をもって行うことができるものとする。

①建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表

②建退共の掛金充当状況を示す資料

イ 電子申請方式の場合：機構が発行する掛金充当書

ロ 証紙貼付方式の場合：工事別共済証紙受払簿(新設)並びに建退共制度に係る被共催者就労状況報告書及び建設業退職金共済証紙貼付状況報告書

③労働者の就労状況を示す資料

作業員名簿(CCUS を活用すれば、作業員名簿は容易に作成可能)

### 4. 実施時期

履行確認の強化等については、令和 3 年 4 月以降に発注される公共工事から実施する。なお、工事別共済証紙受払簿(新設)については、令和 3 年度内においては、受注者の準備が整い次第実施する。

## 国の制度 **6** つの特長

**1** 国の制度なので安全確実かつ簡単

**2** 退職金は企業間を通算して計算

**3** 国が掛金の一部を補助

**4** 掛金は損金扱い

**5** 経営事項審査で加点

**6** 電子申請で手続き可能

●お問い合わせは 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号

**建退共沖縄県支部** 電話 098-876-5214

令和3年10月1日から

## 建退共の制度が一部かわります

### Q1 掛金日額はどうなるの？

掛金日額が310円から320円になります。

令和3年10月1日以降は、310円証紙は販売しておりませんので、令和3年9月末日までの就労分につきましては必要見込数を9月末日までに購入してください。



赤色(新) 中小企業用共済証紙

青色(新) 大手企業用共済証紙

### Q2 予定運用利回りは何%になるの？ 今まで積み立てた掛金納付分の退職金が遡って減額されるの？

予定運用利回りが3.0%から1.3%になります。

- ① 310円証紙掛金納付分(令和3年9月末就労分)につきましては、従来通りの予定運用利回り3.0%の退職金が100%保証されて計算され、新しく320円証紙掛金納付分のみ予定運用利回り1.3%に引き下げられて退職金が計算されます。
- ② 今まで積み立てた掛金納付分の退職金が遡って減額されることはありませんのでご安心ください。

### Q3 現在、持っている共済手帳はどうすればいいの？令和3年9月末日までに更新しなくてはいけないのか？10月以降に発行される手帳の取り扱いは？

今、お持ちの共済手帳はそのままお使いください。  
なお、下記①～③の取り扱いにご留意ください。

- ① 令和3年9月末日までに発行された共済手帳はそのままご使用ください。現在お持ちの共済手帳が証紙の貼付が満了するか、表紙に記載されている次回更新時期が到来するまで(次回更新時期の記載がない場合は手帳交付日から2年を経過するまで)更新手続きは必要ありません。
- ② 令和3年9月末日までの就労分は310円証紙を、令和3年10月1日からの就労分は320円証紙を貼付してください。
- ③ 令和3年10月以降に発行された共済手帳には、310円証紙を貼付することはできませんので、更新の際は、9月末日までの就労分の貼付もれがないようご注意ください。

### Q4 310円証紙(令和3年9月末日までの就労分)を貼付して、なお余った場合はどうすればいいの？

310円証紙は320円証紙に交換できます。

310円証紙がお手元に残っている場合は、最寄りの金融機関で「共済契約者証」を提示し、次の期間内に証紙の交換を申し出てください(※一部取扱いのない店舗もございますので金融機関へご確認ください) 交換証紙は未使用のものに限ります。なお、金融機関での証紙交換は、差額が発生する場合があります。

交換期間	取扱い窓口
令和3年10月1日～令和3年12月末日	金融機関(代理店)
令和4年1月1日～令和5年9月末日	建退共事業本部のみ

※建退共事業本部での交換は、新証紙1枚分に満たない場合は切り捨てとなりますので、令和3年12月末日までの間において金融機関にて交換するようお願い致します。

独立行政法人 勤労者退職金共済機構

## 建設業退職金共済事業本部

TEL 03-6731-2866 FAX 03-6731-2895

<http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>

スマートフォン  
携帯サイトは  
こちらから



建退共

検索

# 工事後半の資金繰りをサポート! 中間前払金のご案内

当初の前払金

40%

+

中間  
前払金

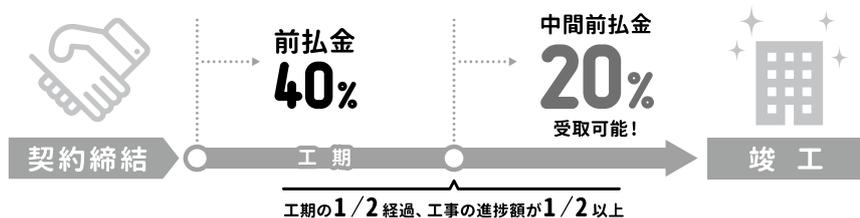
20%

簡単な手続きで工事代金を早く受け取れます!

中間  
前払金  
とは?

当初の前払金(請負金額の40%)に加え、  
さらに請負金額の20%を受け取れます。

工期が長くても  
安心ね!



## よくある質問 Q & A

Q どのような場合に請求できるの?

A 工期の1/2を経過し、工事の進捗額が1/2以上となった  
場合です。

Q 出来高検査はあるの?

A 部分払いのような出来高検査はなく、現場を止める必要  
はありません。

Q 手続きは面倒じゃないの?

A 手続きは簡単です。当社に次の書類をご提出ください。

- 保証申込書 ●前払金使途内訳明細書
- 発注者が発行する認定調書(写)

Q 保証料はどれくらいかかるの?

A 保証料率は一律0.065%と非常にローコストです。

一例▶ 請負金額5,000万円の場合

中間前払金1,000万円×0.065%▶ 保証料 **6,500円**

対象発注者、対象工事等につきましては、お気軽に当社へお問い合わせください。

西日本建設業保証株式会社 沖縄支店

〒901-2131  
沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号(沖縄県建設会館3F)

TEL **098-876-1981** [ 営業時間(平日) ]  
9:00 ▶ 17:00

FAX ☎ **0120-441-455**

西日本建設業保証  
<https://www.wjcs.net/>

検索



みんなで育てよう安心を。

労災上乘せ補償は

# 建設共済 保険

契約者に役立つ制度充実

掛金が魅力  
手厚い補償  
(5,000万円まで)

労働者と企業のリスクをカバー



「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

## 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

## 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

## 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階  
Tel.03-3591-8451 Fax.03-3591-8474

■ 取扱機関: (一社) 沖縄県建設業協会

〒901-2131 浦添市牧港5-6-8  
Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565



契約者と業界の発展のために

<http://www.kyousaidan.or.jp/>

建設共済保険

検索



無事故の歳末 明るくい正月

建設業

年末年始労働

災害防止強調期間

井頭 愛海

2021  
12.1~1.15  
2022

コード No.760301

建設業労働災害防止協会

 建設業労働災害防止協会